



マルちゃん杯全日本少年柔道大会出場



6月12日に佐賀県で開催された同大会の九州予選に、加世田小学校6年の鮫島堅柔^{けんや}さんが所属する柔心館道場（団体戦）で出場し、見事準優勝の成績を残しました。58チーム中上位4チームが全国大会の出場権を得る大会で、県勢27年ぶりの決勝進出。決勝では僅差で敗れたものの、9月に開催される全国大会の出場権を、九州代表として得ました。「全国大会は初めてなので、緊張すると思うが良い経験になるので楽しみ」と抱負を話しました。

坊津学「海に学ぶ」海洋学習



7月9日、坊津学園8・9年生32人が鹿児島水産高校のプールでスキューバダイビング（素潜り）を体験しました。海をテーマにした海洋学習の一環で、シュノーケルの使い方やフィン（足ひれ）を付けた泳法のほか、海中における有事の対処法などを学びました。9年生の茅野真幸^{まさき}さんは「坊津学園ならではの貴重な体験学習なので楽しみにしていた。この体験を活かして地元の海も潜って見てみたい」と話しました。

スマート農業について学ぼう



6月24日、加世田常潤高校内の水田で雑草管理を省力化できるアイガモロボットの勉強会がありました。学生や地域の水稲関係者にスマート農業や有機農業について勉強してもらうことで、環境負荷を減らし持続可能な地域社会づくりを進めていくことが目的です。常潤高校1年の小道勇心^{ゆうしん}さんは、「除草に係る時間と労力を削減できるのがすごいと思った。これを活かして安心安全なお米を作りたい」と話しました。

唐人巻きを未来の子どもたちへ



文化庁委託事業「未来の子どもたちに鹿児島県の食文化を伝え継ぐ」食文化継承プロジェクト2022に、数多くの候補の中から坊津町の「唐人巻き^{とうじんまき}」が選ばれました。唐人巻きは、もち米をダンチクの葉に包んだもので、現在継承者が減少しています。動画による記録を目的に、唐人巻きの作り方を伝授していただいた食生活改善推進員の鮫島春美さんは「今後も活動を通して唐人巻きの伝承を守っていききたい」と話しました。